

◎ 第122回定例研究会 7月20日(木) 於:静岡県評会議室

韓国における文在寅政権の誕生とその意義

報告: 安周永氏(常葉大学 講師)

●韓国における文在寅政権の誕生

1) 大統領選の選挙結果

・政党別の得票率 (文在寅は過半数以下)

政党	正義党	共に民主党	国民の党	正しい政党	自由韓国党
候補	沈相奵	文在寅	安哲秀	劉承政	洪準杓
得票率	6.17%	41.08%	21.41%	6.76%	24.03%

・年齢別の得票率

高齢者の保守への支持 → 北朝鮮からの侵略による戦争、保守マスメディアの影響
若者の革新への支持 → 民主化以降の教育、若者の政治参加の場

2) 国会議席の分布 (「共に民主党」は過半数以下)

政党名	2016年選挙結果			2017年5月11日		
	小選挙区	比例	合計	小選挙区	比例	合計
共に民主党	110	13	123	107	13	120
自由韓国党	105	17	122	90	17	107
国民の党	25	13	38	27	13	40
正しい政党	自由韓国党から分離			20	0	20
正義党	2	4	6	2	4	6

3) 置かれている状況

- ・不利な環境
脆弱な政権の基盤
保守的マスメディアの環境
- ・高い支持率
70%以上(5月~7月) (保守層の一部も支持)

●文在寅政権の誕生の過程

1) 長期間の保守政権後の政権交代の特徴

- ・大統領府の権力 (内閣と衆議院) のみの交代
- ・政権運営の未熟さ (官僚、ブレインの不足)
→ 政権失敗の可能性は高い

2) 強くなる保守政党と革新政党の内紛

- ・保守政党の学習効果→無償保育の導入
- ・対抗政党として成長した革新政党のイデオロギーの多様性 → 派閥争い

3) 保守政権の二つの顔

- ・政策の中道化 (福祉拡大、経済民主化)
- ・権威主義的政権運営

4) 直接行動と政党政治の関係

- ・直接行動が有権者に与える影響 (政治意識の向上、公共性の浮上)
- ・直接行動が政党に与える影響 (政党内の左傾化)

●文在寅政権の意義と展望

(盧武鉉政権との比較から)

1) 権力構造

- ・盧武鉉政権: 行政府の権力 + 議会の過半数 (弾劾の直後の選挙)
- ・盧武鉉政権 > 文在寅政権

2) 政治的機会構造

- ・市民運動の活性化: 不利なマスメディア環境の克服、改革への高い要望
- ・政権運営の学習効果: 北朝鮮に対する厳しい体制 (対話とムチ)、柔軟な人材の抜擢
- ・文在寅政権 > 盧武鉉政権

3) 現在の政策

- ・最低賃金の引き上げと零細企業に対する補填 (6470ウォン→7530ウォン (16.4%↑))
- ・建設中の原発の停止

*連絡先: 静岡県労働研究所 TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973

〒422-8062 静岡市駿河区稲川 2-2-1 セキスイハイムビルディング 7F (静岡県評内)

メール roudouadv@wave.wbs.ne.jp ホームページ <http://www.geocities.jp/shizuokarouken/>